

令和8年砺波市教育委員会第7回定例会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和8年7月29日（水） 午後1時30分～午後2時30分

開催場所 砺波市役所 東別館会議室

2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、齋藤 正樹、岩崎 納子、吉澤 めぐみ、大野 祐嗣

3 会議に出席した者の氏名

河合 実（事務局長）、田中 博晃（教育総務課長）、山田 なつ紀（こども課長）、大石 哲也（生涯学習・スポーツ課長）、北島 由紀子（小学校長会副会長）、森 明代（保育所・認定こども園代表）、平木 康幸（教育総務課係長）、本田 いずみ（教育総務課庶務係主任）

4 会議に付した事項

（1）前回議事録の承認

（2）教育長報告

・事務局について（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）

（3）議事

ア 報告事項

・その他・・・教育関係機関所管事項について

（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園）

5 会議の要旨

教育長

令和8年砺波市教育委員会第7回定例会を開会いたします。

今週末の8月1日に、みらいトークが砺波東部小学校で行われます。そのことも関連しているのですが、先々週の7月17日に愛知県の瀬戸SOLAN学園という私学の、初等・中等部のある学校を6名で訪れました。いわゆる探究ができるような環境がしっかりと整えられている、オープンスペースの多い学校でした。とにかく、これからの子供たちをどう育てれば良いかという、建学の精神やグローバル・シティズンシップ教育など、世界で通用するような子供を育てるという精神で、園長先生の熱い思いで創られた学校でした。元々あった小学校・中学校は統合され、その空いてしまった古い校舎を使いながらも改装し、新しいものを作ったりしておられました。小学校1年生から個人探求をしており、今年で開校8年目なので、一番上の子供たちは今、中学校2年生になりました。探求をしている様子も拝見しましたが、自分の学びで一人ひとり向き合いながら真剣に取り組んでいました。それこそ中学生でも高校生を凌ぐような探求をする生徒が出てくるという、そのことは生徒の顔つきを見ているわかりましたし、8年間こんな風に探究で、自分のために自分の

	好きなことを突き詰めてやっていくと、ここまで成長できるのだということを拝見させていただきました。今度のみらいトークでも、皆さんから色々な意見が多々出てくると思いますが、一つのコンセプトに、探究的な学びができるような環境が必要であるということはおそらく出てくるのではないかと考えております。改めて環境というのは大切であるということを感じた次第でありました。
教育長	それでは、前回議事録の承認についてお諮りします。
教育委員	異議なし。
教育長	事務局各課から所管事業について報告を求めます。
教育総務課長	<総括的事項について報告・説明>
	<教育総務課所管分の事業について報告・説明>
こども課長	<こども課所管分の事業について報告・説明>
生涯学習・スポーツ課長	<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>
教育長	質疑はありますか。
齋藤教育長職務代理者	こども課にお尋ねします。放課後児童クラブの民間委託の説明会では、保護者の方から意見や質問、要望等ありましたか。
こども課長	はい、令和9年度以降はどうなりますかというお話や、受け入れのことについてのご意見やご要望がございました。基本的には支援員の方はそのままみなさん残っていただくのですが、その他に一部変わる部分もあり、私たちと子供たちにとっても、10月からスタートしてみないとどのように変わっていくのか、やってみないと分からない部分はあるかもしれないのですが、来年度の受け入れのことや、この後の利用料に変更はあるのかどうかなどが、質問としてございました。利用料については、市で決定しますので、10月以降は今までと変更はございませんし、当面は変更ない予定であります。
大野教育委員	こども課へ質問です。現状で教えていただきたいのですが、夏休みに入ってまだ日は浅いですが、こどもおーるの利用の状況や、学習の状況、どのくらいのお子さんがいらっしゃるのかを教えてください。
こども課長	夏休みに入ってそんなに日が経っていないということもありますが、利用状況を見てみますと、先週の懇談会等で早い帰宅だったタイミングの時から、少しお子さんは増えています。7月25日、26日の土日は、暑いこともあって親子連れの利用も多く、特に幼児と小学生のご家族の利用が多かったと聞いております。久しぶりにボードゲームをする方もおられて、読書スペースの方が人で溢れていたと聞いております。夏休みに入ると、小学生の利用がやはり増え、出町校区だけではなくて砺波北部校区の小学生も来ていると聞いております。平日の小学生の利用についても市外の利用者が増えているとあります。学習スペースを利用する小学生も少しずつ増えてきているということです。夏休みに入ったばかりなので、この後また様子を見ていきたいところではあるのですが、夏休みに入って

岩崎教育委員	様子が変わってきているという印象を受けております。
こども課長	私もこども課への質問です。子育てサポーターの養成講座で、新たに3名の方が登録されたということですが、これはいわゆるファミリーサポートのシステムでお仕事されるということですか、それともファミリーサポートのシステム以外に何か、例えば乳幼児健診等でもお仕事をされることはあるのですか。
吉澤教育委員	ファミリーサポートセンター事業の子育てサポーターとして登録をお願いしたところではあるのですが、既にこのご参加いただいた方は、放課後児童クラブの支援員をしておられたり、子育て支援センターで働いておられたり、実際に経験を積んでおられる方のスキルアップになっている部分もあります。乳幼児健診になると健康センターの管轄もあり、少し違ってくるため、そこに繋げることはできないのですが、色々な形でご協力をお願いできます。ファミリーサポートセンターも協力会員、預かっていただけの方が、段々年齢が上がってきていることもあり、協力いただける方を増やして、短時間の送迎やお子さんを見ていただくという、そのような協力をしていただける方を増やしていきたいという思いもあり、そういった方のご登録に繋がりたいということが、目的の中の大きな部分であったので、今回はそのような意味では実績があったと思っております。
こども課長	子育てサポーターですが、何か資格等は必要なのですか。
齋藤教育長職務代理者	特に資格というのは設けておりません。
生涯学習・スポーツ課長	生涯学習スポーツ課にお尋ねします。8月26日に砺波市美術協会ワークショップ（地域クラブ展開）が予定されているのですが、これは学校の部活動の地域展開に関係するもので進めておられるのですか。
齋藤教育長職務代理者	砺波市美術協会が主催するワークショップでして、市内中学校の美術クラブの生徒が参加されます。美術協会の方と一緒にワークショップを行う予定にしております。先月1度しており、2回目になります。参加は希望者となっており、全ての生徒ではありません。
生涯学習・スポーツ課長	将来的には地域クラブにしていこうとして行っているのですか。また、ワークショップの内容は学校での活動と連続性があるものでしょうか。
教育長	今は部活動という、部の単位として行っており、将来はそうようになっていった欲しいところもあるのですが、休日の活動が地域クラブなので、そちらまで行われるかというのが、まだ不明なところとなると思います。ワークショップの内容は企画ものとして行っており、先月は書道、今回はガラス細工を講師の方をお呼びして行っております。
教育センター所長	次に教育関係機関からの報告を求めます。
小学校長副会長	<教育センター所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園長代表	<小中学校所管事項について報告・説明>
	<保育所・認定こども園所管事項について報告・説明>

教育長
齋藤教育長職務代理者

ご質問、ご意見はありますか。

小中学校校長会へお尋ねします。先日から子供たちが朝、プールへ歩いていくのを見ていて楽しそうだったのですが、昔のことを思うと、昔はプールを昼からしていたので、午前中は家から出ず宿題をしない、午後からプールへ行きなさいと言われたものですが、今は午前中にプールへ行き、宿題はあるのですか。昔は登校日に厳しく丸付けをしていたのですが、今の小学校はどのような感じなのでしょう。午前中にプールへ行ったらそのまま1日が終わってしまいそうですが、宿題のテキスト等は出しているのでしょうか。

小学校長副会長

家庭学習の習慣がついていないお子さんにとっては、心配というところはあるのですが、学校によっては宿題にテキストを出しています。そのテキストの出し方も一律ではなくて、この種類の中から自分の好きなものをして良いという学校もあって、自己選択・自己決定を夏休み中にもできるようにしています。

吉澤教育委員

先週、地元のBBQがありまして、中学生のお子さんがおられるお父さんお母さんの話を聞いていたのですが、齋藤委員がおっしゃるように、全然夏休みの宿題が出ないけれど大丈夫なのかとおっしゃるお父さんお母さんたちがいて、今は子供たちが主体な学びをしていたり、先生方の働き方改革によるものでもあると思うのですが、親のプレッシャーが、自分が教えないとダメなんじゃないかなど、宿題が出ないので、そういうことをおっしゃるお父さんお母さんが何人かいらっしゃいました。

小学校長副会長

基本的に夏休み中、大変申し訳ないという思いもあるのですが、ご家庭に返すということを基本にしております。ただ、学校も何もしないで40日間いるのではなくて、自己選択・自己決定、そして自分の学習は自分で作る、自分の学習に責任を持つという意味で、きちんと計画立てをしています。一応必修課題や選択課題というものも用意してあります。必修課題と選択課題を折り込んできちんと40日間の計画を立てて、OKを出して、保護者の方にお渡しして、お願いしますとお伝えしております。ただ、ご家庭によってはそれでも不安だと、保護者が言わなかったらしないというご家庭は確かにあると思いますが、9月以降、しっかりとフォローアップしようと思っております。

岩崎教育委員

上の子供は夏休みにほとんど何もせず、ずっと親が必死になって宿題をしないと言っており、下の子供の方は、夏休みに宿題をもらってすぐに一気にして、さっさと終わらせたいと、やはり子によって違うので親が見極めないといけないと思いました。上の子の場合は学校からたくさん宿題をもらうよりは親の方で宿題を出したり、復習を出したり、下の子はいっぱいするので、その分たくさん本を読ませたりなど、親も頑張らないと、と思いました。

小学校長副会長

4月から始まった心の天気ですが、それも夏休み中に行うことになっていて、一定期間入っていない時にはお電話するという約束にな

っていますし、課題についても、どこかで一度、提出しましょうと決められています。それはネット上の配信で提出することになっているので、だいたいここでみんなきちんとしているなど確認しながら進めています。

大野教育委員

親目線でみたら、やはり小学生では特に、夏休みは遊びまくれば良いかなと思うのですが、暑くて、そこで家にいる時間がどうしても多くなります。学校も行けない、公園も行けない、そうなりとやっぱり家にいる時間が多いもので、宿題があれば良いという気分になってしまうのだと思います。そのため、そこは親も上手に計画を立てさせて、夏休みにしかできないような、勉強じゃなくても、経験でも、悩みますけれども、必要だと思います。

齋藤教育長職務代理者

1学期の学校訪問を見ていて、タブレットを十分に使いこなして、自分で検索して、質問をして、グラフを出して、それを並べたりして、すごく上手になっていると思っていたのですが、多分全員がそうではないのではないかと思います、使いこなせない子が出てきていないか心配になりました。また以前、教育センターで習熟度に応じて達成目標を作ることをしていましたが、どの子がどの程度使いこなしているかなど、みんな把握しておられるのでしょうか、どのような感じでしょうか。

小学校長副会長

今年度からタイピングソフトが一律に小中学校に入っており、そこでタイピングの検定や大会ができるようになっていきます。もちろん実施の時期は各学校によって違うのですが、習熟度というのは測れるようになっていきます。情報活用能力といった能力を身に付けたいので、40分授業でできた帯タイムにきちんと位置付けているので、授業に支障をきたすほどの差はないと感じております。ただ、一方でそうやってICTの部分のスキルは身に付けていきますが、本校で先日、学力向上の研修会を独自に開いたところ、やはり算数の筆算をする時は紙と鉛筆を使って、きちんとマスに合わせて、単位を揃えたり、国語の漢字も簡単に覚えるのではなくて、やはり意味として熟語や文章の中で使う時は辞書を引くことが大事だということが改めてわかったので、そこをハイブリッドでどういう風にやっていくかは、これから検証しながら力を付けていきたいと思っております。

教育長

それでは次回以降の開催日について。

教育総務課長

次回、令和8年第8回定例会を令和8年8月20日（木）午前10時30分から開催いたします。また、令和8年第9回定例会について、令和8年9月30日（水）午後1時30分から開催したいと考えております。いずれも場所はこの東別館会議室で行うことといたします。

教育長

これで令和8年砺波市教育委員会第7回定例会を閉会いたします。